

会 議 議 事 録

1 会議名	令和4年度 第2回長岡市図書館協議会
2 開催日時	令和5年2月24日（金曜日） 午後2時から午後4時まで
3 開催場所	長岡市立中央図書館 2階 美術センター
4 出席者名	協議会委員 渡邊委員長、淵本副委員長、斎藤委員、大塚委員、佐藤委員、 遠藤委員、中村委員、三浦委員、藤島委員 事務局 安達教育部長、梅沢館長、中村館長補佐、馬場庶務係長 松矢奉仕係長、田中文書資料室長 指定管理者：梶原統括責任者、菰澤業務チーフ
5 欠席者名	丸田委員
6 議題	協議事項 ①令和4年度長岡市立図書館の活動評価（案）について ②令和5年度の運営方針（案）について ③令和5年度の主な事業計画（案）について ④第三次長岡市子ども読書活動推進計画（案）について
7 審議結果の概要	事務局提案のとおり決定した。

8 審議の内容	
事務局	①令和4年度長岡市立図書館の活動評価（案）について （資料1により説明） 主な質問・意見は次のとおり
	I 基本評価について
委員	貸出カードの更新について、スマホやインターネットでできるか。
事務局	身分証が必要なため、できない。新規も同様。
委員	スマホでできると便利だと思う。
委員長	DXの時代なのでぜひ検討してほしい。
委員	基本評価は全てB評価となっているが、これは目標設定を意欲的に高めに設定したからであって、図書館は頑張っていると言えるのではないか。
	II 重点事項評価について
委員	12ページのエントランス展示はフェイスブック以外に告知したのか。
事務局	フェイスブックのみだが、エントランスにあり、来館者の目につきやすい場所である。
事務局	「図書館の窓から」という館報でも紹介している
委員	展示していることを知らなかったので、もっと周知して欲しい。
委員	いつも楽しみに拝見しており、展示に手間がかかっているのを感じる。継続してほしい。
委員	14ページの古文書解説講座をオンライン配信しているか。
事務局	古文書解説講座については今はまだしていないが、以前中央図書館で行った講演の動画をYouTubeで公開しているので、古文書解説

	講座のオンライン配信も今後検討したい。
委員	レファレンスについては、データベースの充実や外部連携などによって更に対応力を上げられるのでは。
委員	どのようなレファレンスがきたかを図書館のホームページで見ることとはできるのか。
事務局	図書館のホームページでは見れないが、国会図書館のホームページでは確認できる。
委員	国会図書館のホームページのリンクを貼るなど、見れるようにするといったのではないかな。
委員	高校でも探究活動に力をいれている。学生がきてもレファレンスに対応可能か。
事務局	対応可能である。また、学校への授業用セット貸出もしている。
委員	雪しか祭りに米百号が来ることをフェイスブックで広報しておいた方がよかったのでは。
委員	子ども向けサービスの参加人数が減少した理由はなにか。
事務局	チラシの配布部数を減らしたことが要因かもしれない。
委員	チラシの配布部数を減らした理由はなにか。
事務局	コロナ禍ということもあり、積極的な集客を控えていた。
委員	コロナ禍でこれだけの実績を上げれたことは評価Aに十分値する。
委員	コロナの拡大を抑えつつ実績を上げるのは難しい。よく努力していると思う。
委員長	意見にあったように他部局とも連携してD X化を現状より進めてほしい。長岡市全体として検討してほしい。

事務局	②令和５年度の運営方針（案）について （資料２により説明） 主な質問・意見は次のとおり
委員長	互尊文庫は市長部局の所管になるということだが、市内の他の図書館との連携はどうなるのか。
事務局	互尊文庫については、同じ図書館運営ということで、図書館協議会には担当者が来る予定。次回の図書館協議会で連携の内容について説明する。今回はミライエオープンが７月２２日なので、図書館協議会の開催について今後検討する。
事務局	③令和５年度の主な事業計画（案）について （資料３により説明） 質問・意見等なし
事務局	④第三次長岡市子ども読書活動推進計画（案）について （資料４により説明） 主な質問・意見は次のとおり
委員	子どもの読書を推進するには、図書館が学校ボランティアを支援することなどが必要ではないか。
事務局	学校司書が、本の分類などについて生徒に教えている。
委員	自分が学校司書に聞いたところ、忙しくて生徒に探し方を教えられないと言っていた。
事務局	小学生用の広報誌「としょかんくん」で本の分類についてとりあげている。図書館でも何かできることあればしたい。
事務局	図書館の達人という企画で、本の分類の仕方などクイズで行った。電子書籍を試験的に導入している学校もあると聞いている。
委員	子どもは、タブレットを見始めるとタブレットしか見ない。紙の本を見なくなってしまう。
委員長	図書館は本の出会い。本を探すということは、その本だけでなく周りの本との出会いもあり、それはデジタルでは体験できない。

委員	孫が小さい頃に母親が読み聞かせをしていたが、小学生になると興味がゲームに移り、本を読まなくなってくる。本を読む習慣が必要だが、それには保護者や教職員の協力が必要なので地道にやってもらいたい。
委員	大人が本を読むということが大切。家に本があった方が、子どもは本を読むようになりやすい。そのような環境づくりのためには子どもの読書活動を推進するだけでなく、大人の読書活動も推進するといいいのでは。
委員	以前は小学校の図書館ボランティアがあり、様々に活動していた。現在も各小学校に朝読書などボランティアが活動しているが、学校との連携がとれなかったり、本の選書など課題があると聞く。図書館を主体とした学校ボランティアの支援を検討いただきたい。
事務局	ブックスタートなど、赤ちゃんから本に親しむ取組を行っているが、図書館でも検討していきたい。
委員	電子書籍は確実に目が悪くなるし、画面越しの文字は頭に入ってくるにくい。幼少期から紙に本に親しむ経験をしてほしい。
委員	大学入試においても、数学や英語などでも読解力が重要であり、まずは国語の学習、文字を読むようにと生徒に指導している。
委員	○その他自由意見・質問 互尊文庫のミライエ長岡への移転は、図書運営の節目になるのではないかと。新互尊文庫の役割をきちんと位置付けしてほしい。現互尊文庫の蔵書もうまく活用してほしい。
事務局	現互尊文庫の蔵書のうち5000冊は新互尊文庫へ移し、その他は他の図書館に置くか、保育園や小中学校等へ寄付する予定。
委員	ミライエオープンまで時間があるが、それまでは現互尊文庫のところに移動図書館車が来るようなことは予定しているか。
事務局	検討はしたが、実施しないこととした。

委員	アンケートを紙でやっているが、デジタル化したほうがいいのでは。メールアドレス登録している利用者にはメールで周知するなどを検討してはどうか。
事務局	紙の方が回収率がいいが、今後検討する。
9 会議資料 別添のとおり	